

[抄録様式]

財団法人8020推進財団 平成23年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	NPOとの協働による住民参加型歯科保健推進事業（は～もに～プロジェクト）
2. 申請者名：	新潟県歯科医師会
3. 実施組織：	は～もに～プロジェクト
4. 事業の概要：	<p>新潟市を主な対象とし、郡市歯科医師会や市町村行政が関わる中でコミュニティー構想モデル事業を実施してきた。今年度、取り組みを評価する中で今後の方向性についてワークショップを開催すると共に、「地域との多様なネットワーク形成」を柱に事業を展開してきた。特に今年度、新潟市内の指定校経験校、よび当会と繋がり強い学校の関係者にお集まりいただき住民参加型歯科保健活動における学校の役割について意見交換会を実施した。その結果、学校での歯科保健活動の活性化は周辺地域への波及効果は期待できるというものであった。学校での歯科保健活動を通じて構築された連携体制は継続的である。その中心をなすのが学校歯科医や学校歯科衛生士（新潟市独自の検討制度）と考えられた。</p>
5. 事業の内容：	<p>今年度、取り組みを評価する中で今後の方向性についてワークショップを開催すると共に、「地域との多様なネットワーク形成」を柱に事業を展開してきた。具体的には、今年度の活動として「は～もに～プロジェクト」の紹介パンフレットの作成、啓発資料として「は～もに～かるた」の作成および活用方法の検討、ホームページの充実、自治連合会、コミュニティ協議会、外部機関・団体等との地域実践プロジェクト、を実施してきた。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>今年度の活動を通じて、我々が目指す地域歯科保健活動のターゲットは地域の自治会および学校であることが明確となった。特に、学校は組織体としてもしっかりしており、学校歯科医や学校歯科衛生士が位置づけられていることから、恒常的な働きかけが可能である。学校で構築されたネットワークは継続性があるとともに児童・生徒を通じて地域への波及効果も期待できる。学校での活動の起点となるのは学校歯科医や学校歯科衛生士である。従って、歯科医師会や歯科衛生士会を通じ、系統的に学校へのアプローチを試みる事が有効であろう。重要な点は関係者のネットワークづくりであることを共通認識として持つことである。は～もに～プロジェクトは中間組織としてネットワーク作りのきっかけを作っていきたい。</p>